

ランサムウェアに注目

CISOからひとこと

この話題にまつわる各種ヘッドラインや様々な噂に終止符を打つべく、当社は2021年8月に250人以上の最高情報セキュリティ責任者（CISO）を対象に、ランサムウェアの経験や懸念、今後の組織の保護計画について直接話を聞きました。

危機的状況がすぐそこに

全体

53%

過去12か月にランサムウェア攻撃を少なくとも一度経験

69%

今後12か月にランサムウェア攻撃を少なくとも一度経験すると予測

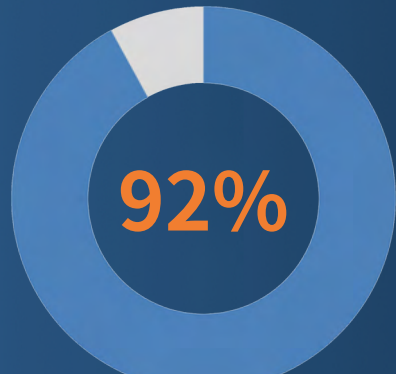
中堅企業

(従業員数1,000～10,000人)

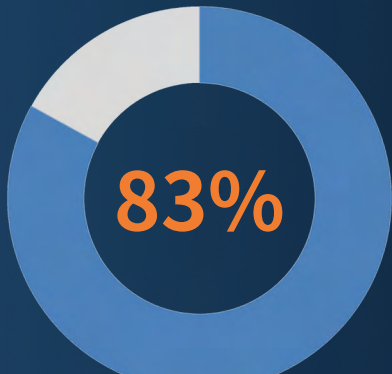
66%

80%

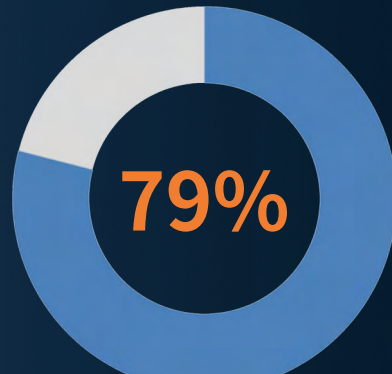
今後12か月にランサムウェア攻撃を少なくとも一度経験すると予測される上位3業界



建設および機械



小売りおよび耐久消費財



製造

身代金の額は主要な問題ではない

ランサムウェアの影響の最大の懸念事項

#1

機密または所有権データのエクスポージャー

#2

通常業務への回復/復旧の費用

#3

業務の混乱による損失または収益

ランサムウェアの影響において最下位の懸念事項

#9

従業員の生産性の損失

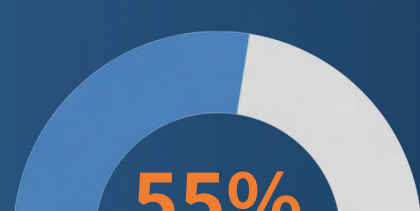
#10

身代金支払いの費用

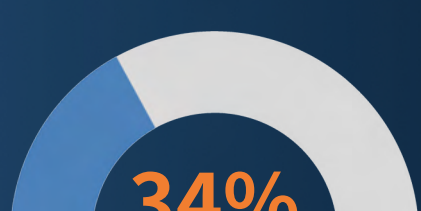
#11

規制/コンプライアンスに関する罰金の費用

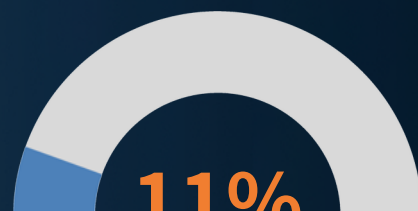
ランサムウェアルーレット



身代金の支払いが完全なデータ復旧につながった



身代金の支払いが部分的なデータ復旧につながった



身代金の支払いがデータ復旧につながらなかった

5件に1件
20件に1件

ランサムウェアの被害者が受けた影響額

5百万ドル以上
5千万ドル以上

入口における防御策

ランサムウェア攻撃を緩和するための最も重要な技術対策



データバックアップと復旧



エンドポイント保護プラットフォーム (EPP)



電子メールのセキュリティ(フィッシング検知機能搭載)



ユーザーの認知とトレーニング

今後12ヶ月間にランサムウェア防御に追加される技術的な対策の上位各種



ユーザー・エンティティ行動分析 (UEBA)



ネットワークセグメント化 / Zero Trustアクセス



情報損失/漏洩防止 (DLP)

かすかな希望の兆し...

ランサムウェアの注目度の高さと高い影響力といった性質が、サイバーセキュリティを取締役会レベルで議論されるべき重要な問題としての認識を高めています。

効果的なランサムウェア防御を実現するにあたって最も困難な障壁



ツール/テクノロジー実装の困難さ



ソリューション実装に必要な熟練した人材不足



他の相反する優先事項

効果的なランサムウェア防御を実現する上で最も影響度の低い障壁



関連費用を正当化することの困難さ



取締役会からの支援の欠如

クリックしてレポート全文を
ダウンロード>>>>

